

# 校歌策定の経緯

平成22年10月26日

「昭和三十九年十月

プール設置

校歌制定 関係綴」から

田沢小学校 柴田公利

番号	題名	内容	年月日
1	プール・校歌新設について		
2	湯田川小学校プール視察		昭和39年7月4日
3	平田町新五カ年計画 提出		昭和39年10月20日
4	地域代表者会	・公民館長 加藤珉司 氏より校歌設定の必要性が提案された 学校（校長）が進めるように求められた。	昭和39年11月30日
5	校歌作詞の依頼について協議	・公民館長 加藤珉司氏 学校長 菅原欣吾 PTA会長 土田昭美氏の合議で阿部襄氏に依頼することを決めた。	昭和39年12月26日
6	阿部襄氏に直接依頼	・PTA会長と校長（教頭か？）直接面談し依頼 （松山に向いていったらしい）	昭和39年12月30日
7	阿部襄氏来校	・同窓会長（佐藤庄太氏）、PTA会長（土田昭美氏） PTA副 会長（佐藤裕氏・石黒○かず氏）も来校	昭和40年1月21日
8	阿部先生に依頼した内容	・阿部襄氏に6年児童の希望を直言（伝えた） ○いなかくさい歌 ○明るい歌 ○美しい歌  ・静かな環境の中に素直な子供たち ・どんな子供になってもらいたいか ①雪どけの喜び 生きる喜び 希望を持つ 菊：ふくべら、一年間で一番早い花 菊咲 ②奥山（胎蔵山？） 永遠・悠久 静寂・鳥なく 心の底にある ③ユリ 校章 清純さ 岸 必ず水、岸でない。 晴れやかな心 久遠に進む心 清純さ 六行中 後ろ2行は二部合唱にしてみたい。	昭和40年1月21日
9	阿部襄先生来校	・校歌の原案を持参した	昭和40年2月20日
10	阿部襄先生来校した 2時校正届く	・校長 PTA会長と今後の段取りについて打ち合わせる ・校歌作曲を依頼することも含まれる。	昭和40年3月2日
11	作曲を齋藤鉉吉氏に依頼する	・山大教育学部教授 齋藤鉉吉氏に依頼した。	昭和40年3月3日
12	阿部襄先生来校（三回目）	・第2案について、6年児童と職員と話し合い意見交換した。 ・第2案が正式に決定する	昭和40年3月9日
13			
14	田沢小学校校歌（歌詞）生まる 生まる（キマルと呼ぶのだ ろうか。まちがいか？）	①雪解け季節の明るい場面を想起し、今後どんな新事態新しい 発見等が開けていく希望を持った田沢小学校 ②山又山と続く、本校の自然環境をとらえ、そこには、雨・風・雪等 の逆境もあるのであるが、大山のようにゆるぎない大木は益々強 くたくたく成長していく私たちの田沢小学校である。 ③又、私達は、田沢川の清い水のようにそして、清純な山百合の ようにやさしく美しく豊純（芳醇か？）なおいの持ち主でもある。 ④貫く気持ちは、常に育った母校から巨れず（はなれずか？おそ れずか？）、然も他へ勇飛（雄飛か？）し出来る力（学力）を持と う。	
15	作曲者（山大齋藤鉉吉教授）に詩文発送 再度依頼す		昭和40年3月11日
16	校歌の現状と経過報告	・活動状況と作曲依頼中 地区代表者会 校長室 ・六月半ばまで作曲完成 練習会 発表会へ	昭和40年3月21日
17	校歌発表会	・プール開きと同日に行うことになった。 ・校歌発表会 9:30～10:30 ・プール開き 10:40～11:40	昭和40年7月27日
18			
19	阿部襄先生	・世界の伝説・日本の伝説 ・アンデルセン童話 寄贈 8、320円	昭和40年8月22日